

イネ科通信 23

ヒエガエリ

2013/5/1

ヒエガエリ 水田や畑などでよく見かける一年草です。高さ 20~60cm ぐらいです。円錐花序は 3~9cm で微細な小穂を密生しています。花期には花序の枝は斜めに立ち花序に隙間ができるようになります。このような隙間ができるまではハマヒエガエリと見間違えることがあります。以前はハマヒエガエリも水田などの水湿地でみかけたのですがこの頃は見かけませんが、河川敷などで見られます。

写真1の左側のヒエガエリは上部の枝が斜めに開き始めたところですが、右側のものは成熟して下方まで花序の枝は開いています。通常、小穂は白緑色で一部紫黒色になっているのです。

写真2は花序の一部を拡大したものです。**写真3**は小穂で 1.7~2mm ぐらい。包穎から芒(のぎ)が出ています。包穎と芒はほぼ同長で中央に見えるのはヒエガエリの穎花です。

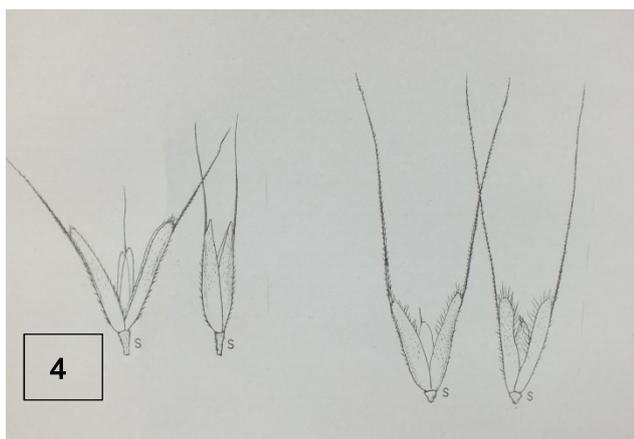
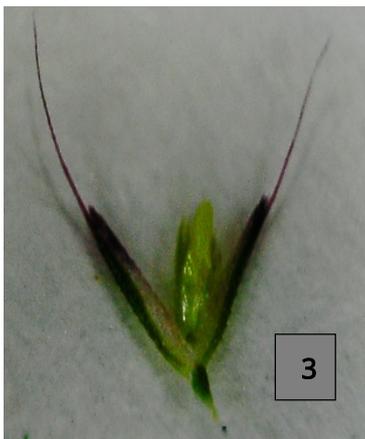


写真5はハマヒエガエリの花序です。手元に写真がなかったのでインターネットから転載しました。

スケッチ4は日本イネ科図譜(平凡社・長田武正)より引用しました。

左側はヒエガエリです。芒は包穎とほぼ同長です。

右側はハマヒエガエリです。芒は包穎の 2~3 倍の長さがあります。円錐花序はふつう淡緑色で殆ど隙間がありません。**3**および**4**は 10 倍のルーペで充分観察できます。